

スローガン 安心・安全な地域創造に努めよう ~地域に根ざした活動を~

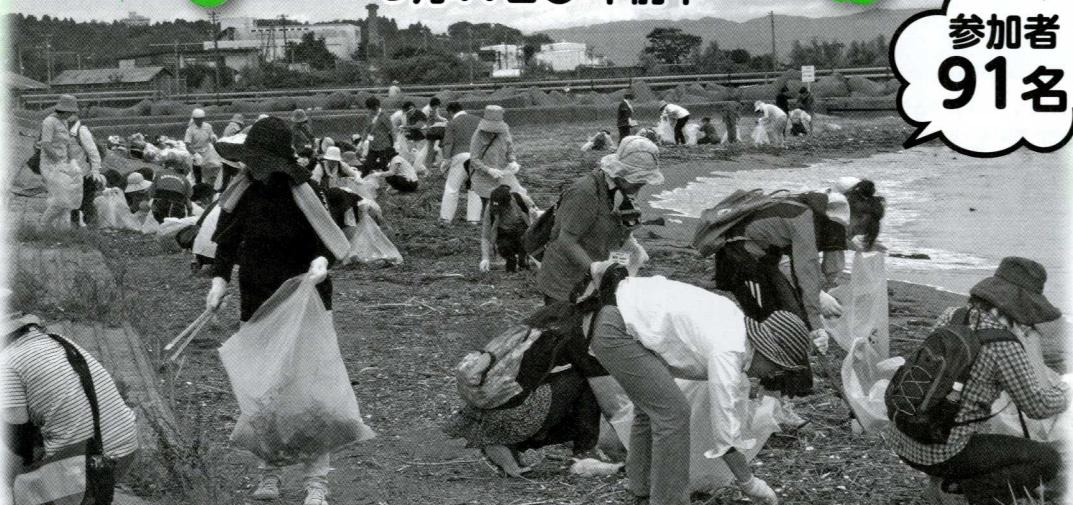
# 南砺市連合婦人会だより

第24号

南砺市連合婦人会 発行責任者 武部 範代 平成29年3月1日発行

## 家庭教育研究集会 六渡寺海岸清掃 9月11日㈰ 午前中

参加者  
91名



普段、山に囲まれた生活をしている私たちにとって、広い海と波の音はとても新鮮で気持ちのいい景色です。その海岸に、大量のゴミが流れ、地元の方々が大変苦労してきたことを、この研修を通して初めて知ることができました。

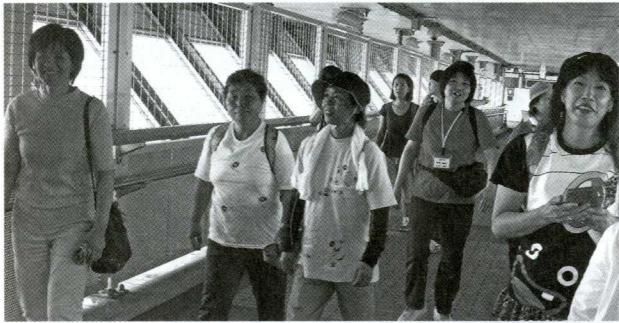
地元住民の数人の手作業で始まった海岸のゴミ拾いが、今では、多くのボランティア団体及び県の補助を受けて定期的に掃除がされています。海岸漂着ゴミは減ることはないという現状を私たちは受け止め、清掃ボランティア活動の取り組みが環境改善へと広がることを期待したいです。

# 振り返って

## レクリエーション大会

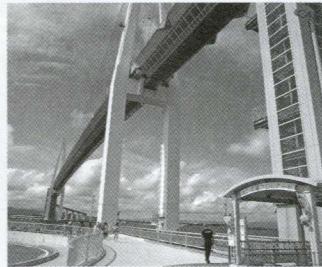
9月11日(日) 新湊大橋

### —あいの風プロムナード ウォーキング—



今年度レクリエーション委員会では初めてのウォーキングに取り組み、六渡寺海岸清掃奉仕に合わせて新湊大橋のあいの風プロムナードを歩きました。橋は上段に車道、下段には人が通れる全長3.6kmのプロムナードがあり、海面から約46mの海上に浮かぶ空中歩廊となっています。

当日はあいにく風が強く、帰りのフェリー乗船は限られた人数となりましたが、見渡す限りの富山湾やそびえ立つ立山連峰や眼下に広がる射水平野や船が行き交う富山新港など空中からの美しい眺望を楽しみました。



### 全地婦連 ● 中部ブロック会議に参加して

平成28年7月全地婦連中部ブロック会議に於いて、全地婦連協議会会長柿沼トミコ氏が講演された内容を一部ご紹介します。『全国地域婦人連絡会は、64年は経ち、全国組織としても歴史と実績を重ねております。

当初、戦後の食糧がない、衛生状態が悪いといった均一の問題があった。どの地域の婦人会も、粉ミルクの配給等一緒の活動をしている。その事が当たり前であった。

今日、地域創生。それぞれの地域で、自分達の生き方を示す時代。その事は婦人会にも言える事だと思います。そして婦人会は、海辺に暮らす者、山に暮らす者、それぞれが地域と人々の暮らしの中で、行政と連携しながら進めて来ていると言う事です。

婦人会の一番の強みは、そこに住み、そこに信用のある、そして婦人会の誰々さんと言えば会えるところにネットワークがあることです。(無縁社会ではなく、つながった社会)

3.11大震災の後、人は一人では生きていけない、地域の中でこそ生かされているという認識が改めて私達人間としてのありようとしてわかりかけてきたと言えると思います。

そして、これからも、自分の地域をどうプラスに転化していくか

## ヤングママ・パパ ネット輪ーク事業

7月23日(土) 福光(在房)山田川

### —親子で川遊びを楽しもう—

川で遊ぶ機会など、ほとんどない現代に「親子で川遊びを楽しもう」と題し『ヤングママ・パパネット輪ーク事業』を実施しました。



南砺市内より年少児から小学6年生までの親子34人、13組の家族が参加されました。親子わんぱく教室代表 金子良成氏の指導により、流れの緩やかな浅瀬に入り、ドジョウやミズカマキリ、エビ、カワニナなどが網でくい上げられるたびにあたりは歓声に包まれ、真夏の日差しの中にも楽しい一時を過ごすことができました。

参加された方々が「親子で自然に親しむ機会となり、とても良かった」と言って下さり、とても嬉しくなりました。



7月9日(土)~10日(日) 金沢都ホテル

という知恵を出し合っていく、前向きに考えていかなければなりません。

これからは、ピラミッド社会ではなく、アメーバのように柔軟に自由に広がり、個々人の知恵、立場、人間性を認め合う社会=ダイバーシティ(多様性)こそ大切。

その基礎が出来ているのが婦人会です。今こそ婦人会が必要です。

今日、色々な目的のため、色々な団体が出来ています。(サークル的団体)その中においても婦人会は、地域に根ざしたそこでしか出来ない、そこでしか取り扱えない、さまざまな問題をどう解決するか?会員間の意見を交わしながら、自治会と共に取組んでいます。

私達自身が生き生き・はつらつと活動することが、地域の活性化につながるのです。

今こそ、婦人会の出番だと思っております。共に挑戦していきましょう。』

武部 範代



## 国内研修

11月27日(日)~28日(月) 豊川稻荷・竹本油脂見学

### —愛知方面へ—

愛知県蒲郡とセントレア中部国際空港に行ってきました。

例年より遅い時期の研修に雪の心配もあり暖かい蒲郡にしました。蒲郡では大勢の観光客に驚きながら小雨の中みかん狩りをし、日本三大稻荷といわれる豊川稻荷では観光ボランティアの案内で神社ではなくお寺であることを知り、沢山のきつねにビックリしました。

ホテルでの3グループに分かれての研修では、これまでの各行事について「よかったです」「見直したほうが良い点」など意見を出し合い、「こうすれば良い」との話し合いをしました。限られた時間のなかでも各グループ真剣に本音を出し合っての話し合いとなっていましたように思います。

懇親会後も話し合いが続き宿泊ならではの貴重な時間となりました。翌日は青空の下、ホテル前の天然記念物の竹島を見学、ごま油の竹本油脂、セントレア中部国際空港の見学、その後昼食に行った刈谷ハイウェイオアシスでのステキなトイレとびっくりする事がいっぱいの研修旅行でした。

2日間寝食を共にしたことで互いに和やかな心と、より親近感が湧き研修旅行の良さを感じました。



# 今年度の活動を

## 県交母会長メッセージ伝達式

### —井口保育園—

9月27日(火) 井口保育園

平成28年度の「交通安全母の会連合会会長メッセージ」の伝達式9月27日(火)井口保育園で開催されました。富山県交通安全母の会連合会の小路みち子会長より南砺市交通安全母の会、武部範代会長に伝達されました。

その後、井口保育園の園児43名に腹話術による交通安全教室が行われ皆で「交通ルールを守ろうね」のお話を聞きました。



子供達は目を輝かせながらお話を聞いて交通ルールを守るお約束をしっかりしてくれました。微力ではありますがこれからも幼い大切な子供達の命を守るお手伝いをしたいと思います。

## 話し合い

### 良かった点・見直した方が良い点

#### 1グループ

南砺市外での活動よりも市内のことを知るべきではないのか?各地区から役員が出てきているのに他地区のことを知らないし行ったこともない。市内へ目を向けて活動しても良いのではないかとの意見がありました。それは「家庭教育研究集会」「国内研修」にも言えることで、地元で研修をすれば、グループ討論や懇親にもっと時間を有効に使うことが出来るのではないかと。

事業を「やめる」ことはいつでもできることですが「続ける」ことを前向きに考える意見が出たのは、今後に向けて明るい話し合いであったと思います。

事業の改善について話し合いが行われました。

- ・総会や婦人会だよりは活動を伝えるために必要だ。
- ・行事内容によっては他の団体にまかせた方がよい。
- ・六渡寺海岸清掃とあいの風プロムナードが一日にまとまった行事となり、準備が楽だったし、参加者にとっても好評だった。
- ・映写会は今の時代に合わないのでないか。
- ・ちふれ・昆布・ラップは良い商品だが会計が煩わしい。

#### 2グループ

今回の研修旅行で、「連合婦人会はどう変化するのがよいか」をポイントに、行事の意義や見直しについてグループ毎で話し合い、たくさん意見が出ました。特筆すべき今年の行事は、9月の「家庭教育研究集会＆新湊大橋ウォーキング」でした。環境問題は地域一丸となり取り組むべき課題で、住民一人一人が環境への関心を持つことが必要であり、その啓発を連合婦人会が担うことは意義深いことです。何はともあれ、この研修が婦人会の地域で持つ機能・役割とは何かをもう一度考える機会となり良かったと思いました。

#### 3グループ



### ●家庭教育セミナー 8月20日(土) 砺波市文化会館

#### 「はなちゃんのみそ汁」

25歳の若さで乳がんと診断された主人公千恵が、苦しい治療を乗り越え結婚、そして奇跡的に授かった娘はなちゃん。4歳になった娘と夫を残して、みそ汁作りを娘に教え、食べる事は生きる事と愛のメッセージを残し亡くなったという実話をもとにした内容でした。映画観賞後、大きくなったはなちゃんから「天国のママへ」の手紙を見せてもらい、ますます心が温まりました。

「ありがとう」はなちゃん!!



### ● 絆・活動と交流のつどい

11月13日(日) 県教育文化会館ホール

○「安心して食べに来てね！」と食を通じて子どもたちを応援している高岡のくオタヤ子ども食堂と○地元の魅力を発信しているくとなみの魅力発信グループKO・RA・RE!!>の2団体の発表がありました。まさしく婦人会のスローガン～地域に根ざした活動を～そのものの活動報告でとても感動しました。

記念講演として、富山出身の五箇公一氏(国立環境研究所、生態系環境研究センター室長)による「生物多様性と私達の生活」と題してのダニの研究内容のお話しで、とても身近なダニではあります、未知の世界が広がっている大変ユニークな講演でした。

# 語る会

## 意気込みを聞くー

平成29年1月9日(月・祝)  
於:南砺市北野ふれあいセンター

### 基調講演

## 「住民の幸福度・満足度の向上にむけての取り組み」

南砺市長 田中幹夫氏

○ 合掌造りの形に見たてた南砺のまちづくりイメージ図を見ながら、熱く語り始められました。

南砺市の現状と地方創生の取組みを折り込み、全国で約一八〇〇ある市町村のほとんどが地方創生をうたっている。この地方創生の戦略の中には子供が増えればよい。ただ人口が増加すればよいという総合戦略が多いが、結果的に産み育てられる、幸せを感じる、そんな地域を作りたい。そこで一番大事なのは、健全な市政運営、財政運営、そして安全・安心・市民主体の「総動」のまちづくりであり、財政的にも将来持続可能な市政運営をしなければならない。南砺市にある二つの病院のあり方も、今の安全安心な暮らしを守りつつ、市としての経営をどう上手くやつしていくか。市民の皆さんに温かい医療を提供するのが当然で、その中で働くスタッフ自らが南砺の医療をどう守るかを考えながら、自分達の職場も考え直そうという事も含めて、経営統合という形で考えて欲しい。

○ 地域包括ケアについては、お年寄りだけでなく子育ても入り、障害者の方も地域の皆で見守りましょう。

子供達は地域で育てサポートしていきましょう。

今私の足りないものは、何を作るか、未来に何を残すか、何を繋ぐか。

次の世代に負担と負荷を残してはいけないのではないか。そして地域の誇りを若い世代に伝えるのが、これからまちづくりだと思いますと語られました。



田中市長

### 活動報告と体験

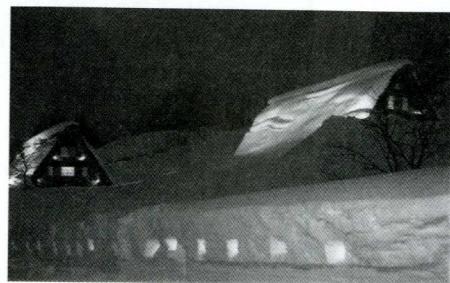
#### 上平婦人会

エコキャンドル作り

上平婦人会長 生田 協子

地球環境に少しでも役に立ちたいとの思いから、使用済み天ぷら油を用いたエコキャンドル作りに取り組んでいます。活動を始めた頃は会員の家庭から集めたガラス瓶で作っていましたが、現在は取り扱いのしやすい紙コップを使用して作っています。色とりどりのエコキャンドルは、上平地域で開催されるイベント「四季の五箇山 雪あかり」の会場・世界遺産菅沼合掌造り集落から合掌の里駐車場までの道のりに設置しています。ほのかな灯りが道案内にもなっており、訪れる方に喜んでいただいている

活動紹介のあと、参加者でエコキャンドル作りを体験しました。



四季の五箇山 雪あかり

**エコキャンドルを作つてみよう!**



①削ったクレヨンをスプーン半分程度、紙コップに入れる。

# 市長と

## —3期目の田中市長の

### 質疑応答



**Q** 今年一月にオープンした地域包括ケアセンターが、市民にとつてもつと親しみやすい、利用しやすい場となつてほしい。  
**A** 地域包括ケアについて再度確認した  
**藤田（井口）** アセントーが、市民にとつてもつと親しみやすい、利用しやすい場となつてほしい。

介護の問題は、家庭だけでは解決できない。自助・互助・共助・公助がうまく機能することが大切である。トータル的に考えていく必要がある。

まず、ねたきりを予防し、支援から介護にならないよう、悪化しないようにするには、自らがどう取組むか、家族として、地域としてどうあつたらいのか。

共助・公助ではどう支援していくか。包括ケアセンターを地域の方とどうかわつていくかを今後も考え続けて行きたい。

**Q** 安心して出産できる環境をどのように整えていくのか。その対応策は？  
**A** 産婦人科を何とかしたいという気持ちはある。公立病院においてはいくつかの条件がある。

二十四時間対応のため、三交代で働く時間の確保には医師二～三名、助産師は三～五名の人材確保が必要である。

しかし、産科医の裁判ではいつも敗ける。その事が産科医になる人さえ減つてしまつた現状で、すべての市にそれを確保するのは現実的に無理である。

そこで砺波医療圏で体制を整えること、すなわち砺波総合病院の産科医師を確保することを優先。加えて南砺市としては、個人・私立病院を探してい

る。総合戦略で一億円の補助も打ち出している。

**Q** 桜クリエについて、発信するもの、どういう目的で…又、女性として出来ることは？  
**A** 桜クリエは平成二十八年度始め、桜ヶ池周辺の再開発事業として設立する。きっかけは、城端の起業家支援センターにPAワーカスさんが起業し、期限つきの補助が終了し、独立立ちすることとなつた。どこで事業を継続していくかの話し合いの中でスマート

インターも含めた桜ヶ池周辺で、アニメ制作会社「プラスクリエーター」（音声、デザイン等）を集結するいわゆる企業誘致を図つた。そのシンボルとして桜クリエイタープラザを作つた。

多種多様なクリエーターが集まることで、交流の場、情報の発信の場、次にぎわいの場となるのでは…と考えている。南砺市は物づくりの街でもあるので、地元との交流で新たな物ができるのではないかと期待している。



質疑応答



⑥ 芯が入つた紙コップをもう一回寒いところに置き、しつかり固まれば出来上がり。  
 ⑦ キヤンダルをつける時は紙コップから外し、下にアルミカップを敷く。



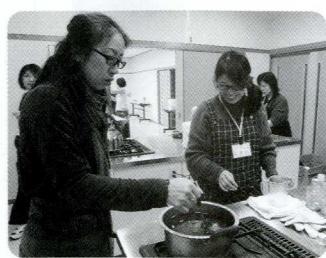
※好みでアロマオイルを入れてもよい  
 ④③を約10～15分間、寒いところに置き、固める。



⑤④が半固まり状態になれば、柔らかいうちに竹串で芯の玉結びを刺し、底まで埋め込む。



③②の油を紙コップ半分まで入れ、割りばしでよくかき混ぜて、クレヨンを溶かす。



※好みでアロマオイルを入れてもよい  
 ④③を約10～15分間、寒いところに置き、固める。

見舞金ありがとうございました。

平成29年1月発生の利賀土砂災害に対し、富山県婦人会から利賀婦人会に見舞金をいただきました。

# ちの 動報告

## がま口ポーチを作ろう 中村 美由樹

12月2日に手芸教室を開催しました。

今年は、がま口ポーチ作りに挑戦。2時間という限られた時間の中で完成するか不安でしたが、参加された皆さん一針一針真剣に縫い進めそれぞれ素敵な作品が完成しました。帰る際『何を入れて使おうか』などの声が聞かれ有意義な時間となりました。

## 利賀地区



## 世界にひとつだけのコップ

石井 純子



7月9日、どんよりとした梅雨の下、車内では、平地域の良さや未来について語りながら富山市内に向いました。古くから全国に知られる富山の薬、広貫堂資料館を見学し、昨年オープンしたばかりのTOYAMAキラリに着きました。プリズムのような美しい外観は、間近で見ると大きなガラスや御影石に驚き、内装は、杉板をふんだんに使い、造花が飾られたカーテンなど、とても素敵でした。美しいガラス作品を見ながら図書館をブラブラしていたら、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

古民家カフェ「アメリ」にて上品な昼食を頂き、富山ガラス工房でガラス作品を制作しました。自分でデザインを考え、指導者の方が手取り足取り指導してください、思い通りのコップが形成されていきました。完成品は、後日届けられるということで、世界に一つだけのコップでビールをグビッと飲むのを楽しみに待っています。

富山に住んで居ながら、なかなか行く機会のない所へ連れて行って下さい、楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございました。



生田 協子

## 上平地区



上平婦人会では今もポーセラーツ教室を行いました。自分のご飯茶碗や皿など、オリジナルの作品が作れる子どもたちにも人気の教室です。「昨年は皿を作ったから今年は何にしようかな?」



## 婦人防火クラブ

堀川 まり子



防災への設備、備蓄の見学、ポンプ車からの放水の体験をしてきました。

また、12月に入って出初式での放水が決まって手動式ポンプの講習会を開き消防団員や職員の方々の説明を受けて出初式に向けて頑張っています。

## 福野地区

安居婦人会では、6年前に婦人会防火クラブを一緒にして欲しいと依頼され、婦人会の活動となっています。今年は、新しい消防署の見学を9月に計画して行ってきました。消防署の職員の方からの説明を聞いたり、



## 素敵な折り紙

### リースづくり

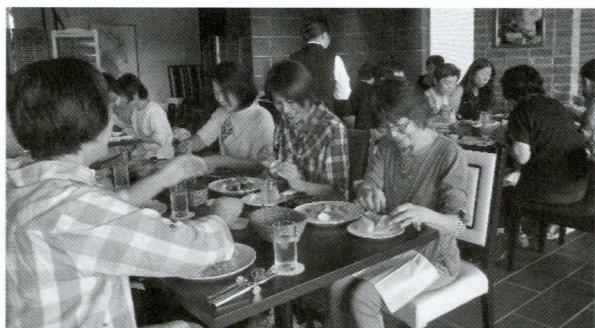
細川 博美

### 城端地区

9月27日(火) 北野ふれあいセンターにおいて「素敵な折り紙リースづくり」と題して手芸教室を開催しました。講師を招き、4つのグループに分かれて、色とりどりの折り紙8枚を使って作りました。最初はなかなかきれいに折れなかったり、中心が合わず途中からずれていったりで皆さん折り紙に悪戦苦闘していましたが、次第にグループの人と楽しくおしゃべりしたり、見比べたりしながら、最後にはきれいなビーズをつけて完成です。皆さん予想以上の出来栄えに大満足でした。(作品は地区の文化祭にも展示しました。)



## ステキな秋を満喫



本庶 登紀子

### 井口地区

9月25日、今日の一日研修はガラス美術館で目を肥やし、富山ガラス工房ではオリジナル作品(力作)に腕を振るい、ラ・シャンスでのおしゃれな料理に舌鼓。芸術と食欲の秋を堪能し有意義な一日を過ごしました。

そして、11月6日井口学習フェスタの会場で個性あふれる作品の数々を展示し、大いに盛り上りました。

## やあらぎ荘訪問ボランティア

### 福光地区

湯浅 麻由美



毎年行っているやすらぎ荘訪問ボランティア。施設利用者の方々に喫茶コーナーでおもてなしをする活動です。わずか2時間足らずですが、とても充実感の味わえる活動です。

この他にも、福光地域で行われる福祉の集いでバザーや、医王山の清掃ボランティア活動、真夏に行われる社明パレードなど様々な地域活動に参加させていただき、地域とのつながりを大切にしながら、より活動の和を深めていければいいなと思っています。



## ポーセラーツ教室



と、参加された皆さんは思い思いに取り組んでいました。好きなシールを見つけるのに時間がかかりますが、配置を決めて貼り付けていくのがとても楽しかったです。



和気あいあいに

## なんど婦メイトの集い

2016 開催



八月二十一日

(日) 福野南部公

民館にて、イタリ

アン料理に挑戦

しました。

講師は地域お

こし協力隊の井

上浩延氏。メイト

会員は主婦歴も

長く調理経験は

十分ですが、新たなメニュー、普段使

わない食材にも挑戦しようと、真剣で

す。婦人会で培ったチームワークも生

かされ、テキパキと作業は進みました。

美味しくいただいた後、井上講師よ

り、南砺の魅力やこれからコミュニ

ティーの在り方などの話を聞き、地域

づくりへの思いを新たにしました。

### 主な行事と会費

総会を兼ねた集いを年1回開催  
連合婦人会総会及び県婦人会主催の紹介

活動と交流のつど  
い等へのお誘い。  
教養を高める機会を持つ。  
持つ。  
会費は、開催事業  
に合わせて必要経費  
を参加者負担とする。

役員事務局  
長谷川邦子  
塙田茂子  
中筋愛子  
(福光)



## 委員会報告

### 交通安全母の会

城宝 淳子

平成28年11月15日サンフォルテにおいて富山県交通安全母親大会第30回の記念式典が開催されました。南砺市交通安全母の会も参加させていただき、各地区的活動も30年のあゆみのなかで上映されました。母親の交通安全活動により、交通事故をなくし安全で住みよい地域を築くために長年にわたり活動を続けてこられた事に本当に頭の下がる思いです。今年度の南砺市交通安全母の会の活動は婦人会会員の減少に伴い例年の活動が出来なかった様に思います。今後は地域の交通安全への思いをさらに深め私達に出来る活動を続けたいと思います。

### 生活委員会

梅原 雅美

今年度もエコキャップ回収運動にご協力頂き有難うございました。



本年度も推奨品の購入に  
ご支援・ご協力を頂き  
心より感謝いたします。

- ・安くて、安心して使える……………ちふれ化粧品
- ・環境にやさしい……………ハイラップ・ハイラップミニ
- ・北方領土返還啓発の歯舞昆布……………早煮昆布・細切り昆布・昆布醤油



ちふれ担当 中谷由美子 物品担当 林 真寿美

今後の予定

## 新聞会長会議

日時 平成29年3月19日(日)  
午前10時~

場所 福光庁舎別館3階

第13回 総会  
日時 平成29年4月2日(日)  
午後1時~4時終了予定

場所 南砺市城端伝統芸能会館

「じょうはな座」

記念講演

富山型デイサービスこのゆびとーまれ  
所長惣万佳代子氏

アトラクション

シンガーソングライター  
北村瞳氏

## 編集後記



南砺市連合婦人会の活動を通して、  
たくさんの方との出会い・交流があり婦  
人会の意味・役割を再認識いたしまし  
た。会員減少の問題もありますが、唯一  
女性の意見を述べれる場としてこれから  
も皆で協力し合いながら楽しく活動  
し、地域にとけ込んでいきましょう。  
そろそろ桜のつぼみもふくらみ始め  
ます。やさしい陽ざしと共に春がだんだ  
んと近づいてきますね。この一年間あり  
がとうございました。

(細木・藤田・湯浅・西村)